



北から南から～「海の日」、全国各地で河川浄化活動を行いました

「海の日」の7月18日（月・祝）、全国のU-ネット会員がそれぞれの地域の河川・湖沼・海でEM団子やEM活性液を一斉に投入する環境浄化活動に取り組みました。2010年から行っているもので、今年で7回目となったこの日、**福島**県梁川町の長沼では、さらなる水質の改善を願ってEM活性液を放流しました。長沼は、生活排水は流れ込んでひどく汚れた沼でしたが、今年から白鳥も集まり出し、菱（ひし）という薬用にも用いられた植物もみられるなど、水質は確実に浄化されています。**栃木**県足利市では市内の松田川下流域の新乙女橋周辺でEM泥団子を500個を投入しました。

愛知県半田市では、第5回半田運河手作りいかだレースが開催され、参加18のチームとともに、半田運河の浄化を願いEMダンゴ2,000個を投入しました。また、同県内武豊町では武豊港に流れる堀川の上流で多くの子供たちが参加しEMダンゴ4,000個とEM活性液の投入を行いました。



写真左/栃木県足利市内の松田川で。
写真右/愛知県半田市で行われた「第5回半田運河手作りいかだレース」会場にて。

7月18日「第7回 EM で海・河川の浄化 全国一斉取り組み」の報告のお願い
実施された団体は、参加報告書をU-ネット事務局までお送りください。

山口県で善循環の輪『EM山口の集い in 防府』を開催しました

EM技術を普及するイベントとして、全国各地で開催している「善循環の集い」の今年3会場目となる山口県防府市での集いを7月23日（土）に開催しました。市内ホテルの会場には早くから多くの方が来場され、約10年ぶりとなった山口での開催への期待が感じられました。EM技術の開発者である比嘉照夫教授より、「EM技術の最新情報」の講演、それを受けて地元でのEM技術活用事例の発表では、小学校プール清掃の継続的取り組みやEMを使った米づくりの取り組み（防府市内）等が報告され、会場の関心が集まりました。後半は、目に見えない放射能汚染や人類文明の発達で汚染されてきた地球が、微生物の力によって蘇生していく可能性を追った映画「蘇生」を上映。活動のネットワークづくりの契機にもなった、実り多い山口での集いとなりました。



大勢の来場者で盛況となった「山口の集い」会場

■「善循環の輪」の集い・これから開催のお知らせ

善循環の輪 宮崎の集い in 日向 8月20日(土)12:00~16:30(開場11:30)
日向市文化交流センター・大ホール(500名収容)
新潟の集い in 村上 8月27日(土)13:00~17:00(開場12:00)
村上市民ふれあいセンター

*お問い合わせは、地球環境共生ネットワーク事務局 (03-5427-2348) まで